

3月定例会	
3月定例会	2
予算特別委員会	4
請願	8
2月臨時会	9
一般質問	10
大好き尾花沢	15
私のひとこと	16



# 63人の瞳

尾花沢小学校創立150周年記念 入学式

## 私のひとこと

尾花沢小学校は明治6年に旧代官屋敷を校舎として開校され、現在の校舎は昭和44年の建築で、今年で築54年、創立150周年を迎えます。多くの方々が本校で学び、巣立ち、地域の学校として多くの方から愛され支えられてきました。本校の歴史と伝統の重みを感じながら、本校の教育目標である「わたし大好き」「ともだち大好き」「ちいさ大好き」な子どもの育

尾花沢小学校校長  
水田 浩さん  
インタビュー



①尾花沢小学校これまでの歴史をどう捉えていますか。

## ～子どもたちの瞳かがやく学校に～

成を目指して教職員が丸となって日々の教育活動に取り組んでいます。  
②教育の現場150年で変わった事はどんなことですか。  
テクノロジーが大きく進化して、産業構造が著しく変わりました。グローバル化が進み、働き方やライフスタイル、価値観も多様化しています。そのために、これからの社会の主役となる子どもたちに、しなやかに対応する力や様々な人達と対話や協同しながら課題を解決する力、適切に判断し行動・表現する力を身に付けるように努めています。一人1台学習用コンピュータを備え、ICTを積極的に活用したて一人一人に適した学びの環境を整えています。

③これからも変わらぬこととは何だと感じていますか。  
教育には、いかに社会が変化しても時代を超えて変わらない価値あるものがあります。それは、豊かな人間性、正義感、公正公平な心、自律と協調、人を思いやる心、人権を尊重する心や自然を愛する心などを子どもたちに培うことです。また、美しい日本語を身に付け、歴史や芸術、文学や伝承などを学び、文化を大切にする心を培い、生活に生かしていくこともとても大切なことと感じています。

④その他、思うことなどありましたら、お聞かせください。  
これからの社会を築いていく子どもたちは、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考えて主体的に判断して行動する力や、自らを律し他人と強調し思いやる心や感動する心など豊かな人間性を持つ



発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

あとがき  
残雪の中、3年ぶりに母校の入学式に参加できました。新一年生のマスクをとった笑顔に、春の喜びと長かったコロナ禍が遠い記憶のよつです。タブレットを活用した、編集作業もようやく慣れた頃、議会だよりの編集を終え一息ついていきます。次の号がまちどおしい議会だよりをめざしてこれからも力を合わせ頑張っていきます。  
(塩原未知子)

- 発行責任者  
議長 青野 隆一  
市議会だより編集委員  
委員長 鈴木 清  
副委員長 和田 哲  
委員 塩原未知子  
委員 星川 薫  
委員 菅野 喜昭  
委員 安井 一義  
委員 鈴木由美子



# 賛成多数で

# 新予算スタート!!

令和5年度  
尾花沢市一般会計予算

賛否状況	議第9号
菅野 修一	○
星川 薫	○
安井 一義	○
菅野 喜昭	○
大類 好彦	○
小関 英子	○
伊藤 浩	○
塩原未知子	×
鈴木 裕雅	○
鈴木 清	○
和田 哲	○
奥山 格	○
鈴木由美子	○
青野 隆一	○

○：賛成 ×：反対 /：議長

## 若者が住み続けられる未来に向けてのまち

### 子育て環境の充実

#### 学ぶ力と豊かな心

(尾花沢こども未来プラン 419万円)



新規事業

議会の視点

伝統行事の承継や、地域に根付いた学習も展開してほしい。

学力の向上と社会力の育成のため、リーディングスキルテストや地域学習などを実施。

## 誰もが魅力を感じるまち

### 尾花沢ファンの拡大

#### 花畑から方針変わる

(徳良湖周辺施設整備事業 4,500万円)



議会の視点

将来の維持管理まで見据えた設計と、徳良湖整備が必要だ。

膨大な維持管理費が予想されていた「花畑計画」から「インクルーシブな緑地など」へ方針転換。誰もが集う“憩いの場の創出”として造成されます。

\*インクルーシブとは・・・

性別や年齢、人種、障がいの有無など、異なる背景や特性をもつ人々が互いに認め合い、ともに生きること。

## みんなが安心して楽しく暮らせるまち

### デジタル技術の活用

#### 市役所が車でやってくる!

(移動市役所導入事業 1,650万円)

#### マルチタスク車両



庁舎機能



オンライン相談 各種手続き

議会の視点

交通弱者やデジタルに不慣れな方が、誰でも気軽に利用できるようにすべき。

市役所に見立てた車両が市内92の全集落にやって来る予定で、各種申請や相談業務が可能に。秋頃からの実証実験スタートが予定されています。

#### 市役所に行かなくてもOK!

(スマート申請システム導入事業 396万円)

新規事業



場面に合わせて「窓口・スマート申請・移動市役所」を選べますね。

自宅からでも外出先からでもスマートフォンなどで行政手続きが可能に。つまり、市役所に行かないで手続きができるようになります。

## 令和4年度 一般会計補正予算 1,519万円追加

主なもの

市

株式会社  
尾花沢市ふるさと振興公社

委託料(指定管理料)の追加  
785万円

質疑

星川 薫

Q 市と受託者間のリスク分担や責任の所在を説明するなど、市民が納得いく財政運営が必要ではないか。

A 想定外のリスクへの対応は必要だが、指定管理者制度として望ましくなく、今後の在り方も検討していく時期だ。

## 令和5年度 予算額の一覧 (総額 177億2,508万円)

一般会計	127億4,200万円			
特別会計	49億8,308万円			
内 訳	国民健康保険事業	20億3,895万円	農業集落排水事業	8,896万円
	中央診療所施設勘定	4億1,049万円	介護保険事業	19億4,742万円
	簡易水道事業	2億7,462万円	後期高齢者医療保険事業	2億2,264万円

\*特別会計については、千円単位の四捨五入により実際の予算額と若干異なります。

3月定例会は3月2日から20日までの19日間で開かれ、令和5年度予算の審議については、賛成12・反対1の賛成多数で可決しました。また、令和4年度補正予算8件、条例の制定および設定13件、規約に関する協定や議案の意見書の提出について可決し、請願1件を採択しました。最後に、閉会中の各常任委員会および議会運営委員会において所管事務を継続していくことを確認しました。

定例会のあらまし



# 市民生活に寄りそう 予算に

3月8日に、全議員で構成する予算特別委員会が設置され、令和5年度予算(案)を慎重に審査しました。その過程で、翌日の3月9日～10日の2日間にわたり、本議場において約360分間の活発な総括質疑が行なわれました。

## 移動市役所

(鈴木由美子)

**Q** 申請や相談受付のため、各地域の公民館に向向くなら新規車両を導入しなくとも、パソコン・タブレットを持参し、既存の公用車で移動可能ではないか。また、依頼者の自宅に個別訪問するべきではないか。以前から「移動スパー」を求む声はあるが、市民の声は反映されているのか。  
**A** 秋頃から実証実験を開始し、市民のニーズを探っていく。



## 食味ランキング

(奥山 格)

**Q** 2022年産米の食味ランキングで「はえぬき」はAで、米の概算払い価格に影響するのではないかと。特A

## プレミアム商品券

(大類好彦)

**Q** 新型コロナウイルス対策の補助金で、30%プレミアム分になっていたが、来年度は、元の15%プレミアム分に戻すのか。20%位にできないか。  
**A** 令和5年度のプレミアム商品券は、プレミアム率を15%と考えている。数を増やすなど、今後の状況などを考えて検討したい。

## 難聴者補聴器

(鈴木 清)

**Q** 県内三番目の補聴器助成制度の創設だが、要件の「18歳以上」「所得制限なし」はどんな考えか。周知はどう行うか。  
**A** 高齢者だけでなく、若者のイヤホン難聴が



にあげる方策は何か。  
**A** 作付けが多い主力品種である「はえぬき」の食味の評価は、米の概算金に影響する。特Aにあげる方策として、肥培管理の営農指導体制を強化し、チラシを配布して農家に肥培管理をお願いしている。食味を向上させるには含有蛋白量が影響するので、適期刈取について力を入れ広報している。



## 徳良湖 スノーランド

(星川 薫)

**Q** アフターコロナでインバウンド客も必ず増えてくる。スノーモービルやバギーの有料だけでなく、命名権や観光パックなど、検討してはどうか。  
**A** シーズンもタイのバスツアーが立ち寄

## 自主防災会

(小関英子)

**Q** 自主防災会組織の資機材購入事業と向上支援事業の利用は何件あるか。また、地域間や市全体の連携は図られているか。  
**A** 自主防災会は92組織あり、資機材購入事業12件、向上支援事業4件を行っている。常盤地区の先進事例を、今後は他地区でも考えていきたい。市全体の連携も検討していく。



## 図書館 リニューアル

(和田 哲)

**Q** 本を借りても借りなくても、誰もが立ち寄りたくなる図書館が必要だ。リニューアルの目的と規模について伺う。  
**A** 図書館がもつに



## ふるさと納税ポータルサイト

(塩原未知子)

**Q** 目標寄附者対応委託料(3千207万円)業務委託料(5千346万円)管理料負担割合が多すぎるのではないかと。  
**A** ポータルサイトSEO対策やSNS、寄附者メルマガ業務や新規返礼品の開発などを委託している。今後寄附額の増額を目指し強化していく。

## 機能別消防団

(安井一義)

**Q** 機能別消防団員制度の内容はどうか。  
**A** 特定の活動を担う団員である。消防団の条例定数に含まれ同じ保証が受けられ消防団組織の一層の強化が図



徳良湖スノーランド



るなど、認知度も上がっていること認識している。命名権については、制度の理解も含め検討する。また、今シーズンの観光パックを実験的に行った結果を基に、質の高い観光パッケージ化を図る。



消防演習

## 健康増進事業費

(菅野喜昭)

**Q** 重粒子線がん治療助成費補助金62万8千円の内訳は。  
**A** 重粒子線がん治療費の一部についての助成で、その対象となるのは肺がんなど7種類となっている。予算額の62万8千円は、重粒子線照射費用314万円の2割とし、1件分を見込んでいます。



ぎわい、また学生の学習の場としても活用していただくため、誰もが心地よく滞在できる図書館を目指したい。大規模改修よりも空間のイノベーションを考えており、さまざまな意見をいただきながら進めたい。



悠美館

## 諸かる農業

(鈴木裕雅)

**Q** 中小規模の農家が儲かる農業経営を行うためのスマート農業と

は、どういったことが考えられるか。  
**A** 良好な経営が成り立つことを前提としている。今後は機械の共同利用なども考えられるため、人農地プランを活性化させていく中で集落営農組織、共同経営体での機械の共同利用が加速し、中小規模の農家へも利益が生じると考える。



◎議長 青野隆一  
◎予算特別委員長 菅野修一  
2名は役職上、質疑はできません。



# 第1分科会

**税金・財政  
くらし・教育  
災害・消防など**

委員長 奥山 格  
副委員長 鈴木 裕雅  
3月10日(金)～14日(火)

に、より魅力的な返礼品の検討に努められるよう要望。

**消防施設費**  
消防団小型ポンプ購入について詳細な説明があり、これを了承したが、今後、消防団員の確保と並行し、ポンプ運搬に係る負担軽減のため、軽積載車の導入を進められるよう要望。

**教育費**  
おもたか奨学金基金積立金について、本市に5年間滞りなく、それまで滞りなく奨学金を償還している人を対象に償還支援を行う旨の説明を受け、これを了承。

**学校建設費**  
測量設計業務委託料について、用地測量や基本設計、学校用地造成に係る実施設計などの委託料である旨詳細な説明を受け、これを了承したが、より良い学校施設の整備に取り組まれるよう要望。

**文化体育施設管理費**  
工事請負費について、アリーナの屋根塗装やコンベンションホールの温度調整機器の修繕などを行う旨の説明を受け、これを了承。



小型消防ポンプ

**健康増進事業費**  
健康講座の市内温泉施設での開催やオンライン開催など、気軽に参加できる取り組みを要望。

**農業振興費**  
新規就農者育成総合対策事業を始め、儲かる農業支援事業等の就農者支援の継続を要望。

**観光費**  
徳良湖周辺設備事業は、有識者の意見と将来の維持管理と徳良湖全体を考慮した整備を要望。

**道路維持費**  
除雪箇所及び丹生川橋周辺の交通渋滞解消のため、GPS活用の検討を要望。

**公園費**  
公園は、冬期間は雪置き場に使っているが、防災機能の観点から水道・トイレの通年使用を要望。

**中央診療所施設勘定**  
持続可能な診療体制維持のため、正職員看護師の人材確保を要望。

**介護保険特別会計**  
第9期介護事業計画策定業務委託は「医療、介護、予防、住まい、生活支援」を包括的な計画策定であり、これを了承。



文化体育施設

**雪対策・新エネルギー推進費**  
ゼロカーボンシティの実現に向けて、環境学習は学校と市民も参加できる場を要望。

**社会福祉総務費**  
地域の見守りや共助に欠かせない民生委員児童委員の欠員解消のため、区長及び関係者との連携を了承。

**保育所費**  
保育施設ICT化推進事業について、保育日誌等のデジタル化や登降園管理アプリの導入で職員の事務負担を軽減し、園児に良質な保育を行うことを了承。

**保健衛生総務費**  
電子母子健康手帳導入事業は、スマートフォン等を活用し子ども等の成長記録や市からの子育て情報を受け取れるなど、早期実施を要望。



自動農業散布機

尾花沢市ホームページまたは左記のQRコードより、会議録全文と動画全編をご覧ください。

「尾花沢公式ホームページ」→「市議会」



# 第2分科会

**福祉・農業  
産業・道路  
保健・医療など**

委員長 小関 英子  
副委員長 伊藤 浩  
3月10日(金)～15日(水)

大切な子どもの成長をいつでもどこでも  
デジタル子ども手帳  
てくてく

てくてくでできること

- 母子手帳機能  
成長や健康をスマホでいつでも確認できます
- 尾花沢市子育てだより  
乳幼児健診などのお知らせを配信します
- 子育て役立ちコラム  
専門家の安心情報を配信します

デジタル子ども手帳 てくてく

## 広域組合議会の報告

### 北村山広域行政事務組合議会

3月23日、村山市議会議場にて定例会を開催し、令和5年度一般会計予算9千200万円、関係市町負担金、教育委員の任命、個人情報保護に関する法律施行条例の4議案を原案通り可決した。

令和5年度の3市1町の負担金は次の通り。(本市負担率18.6%)

市町村	負担金
尾花沢市	1,570万円
村山市	2,568万円
東根市	3,355万円
大石田町	953万円
合計	8,447万円

### 北村山公立病院組合議会

北村山公立病院組合議会第1回定例会が令和5年3月24日東根市議会議場で開催され、令和5年度組合事業会計予算など7議案が上程され、いずれも原案通り可決し閉会した。

令和5年度組合事業会計予算は、

市町村	負担金
尾花沢市	1億3,245万円
村山市	2億7,449万円
東根市	4億9,590万円
大石田町	5,964万円
合計	9億6,248万円

### 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

3月23日定例会を開催し、令和5年度一般会計予算のほか、令和4年度補正予算及び令和4年度水道事業会計の資本金剰余金の処分並びに尾花沢市の条例を準用する条例の一部を改正する条例の制定についての12案件を可決した。

なお、尾花沢市の条例の一部を改正する条例は、組合の管理職はこれまで、事務局長だけであったが、組合の中から統括課長の職務にあたる管理職を置くもの。



令和5年請願第1号

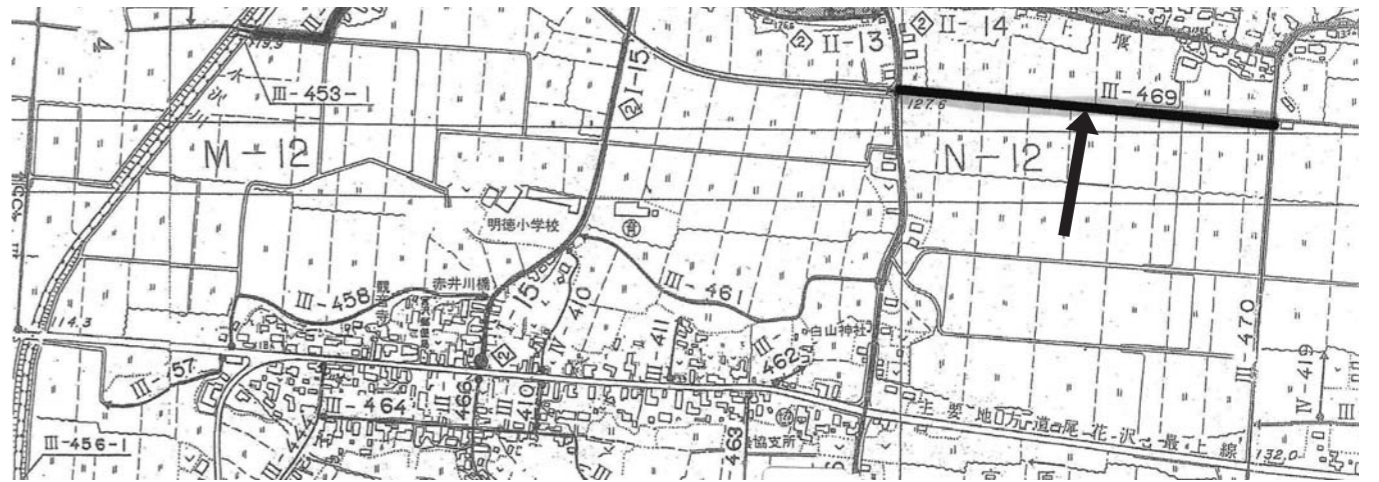
◎「市道Ⅲ-469号道路舗装整備に関する請願」

丹生第1地区の市道Ⅲ-469号は、圃場整備と併せて約40年前に整備された道路である。現在は敷砂利の道路になっており、路面の損傷が著しく悪路な状態になっている。

令和4年の11月に地区民がフォーフリフトで当該市道を通行中、道路の凹凸にタイヤがはまり横転する事故が発生している。

再発防止に向け、地区民の兼ねてからの要望である。早急な舗装整備の促進に特段のご配慮をお願い申し上げます。

- 請願者 丹生第一区長 早坂哲太郎
- 紹介議員 大類 好彦
- 付託 産業厚生常任委員会
- 審査の結果 全会一致で採択



議会議案第2号

◎「水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出について」

農林水産省から、令和4年度から5年間に一度も水を張らない水田は、交付金の対象から除外するとの方針が示された。さらに今年に入り、畑地化促進事業も展開され、多くの方々からは周知不足との声や今後の経営に関する不安の声が大きく、農業経営の見通しや営農計画が立てられないなどの深刻な影響が生じている。このようなことから、農家の安定した経営を支えるため、下記の措置を講じられるよう強く要請する。

- 1 畑地化支援・定着促進支援については、希望するすべての農家が支援金を受けられるよう十分な予算を確保すること。
- 2 いったん「畑地化」を申請するかにては、「水張り」と同様に



- 3 令和8年まで選択できるような制度の見直しを行うこと。
- 4 豪雪地帯については、積雪期間を「1か月以上のたん水管理」とみなすなど条件不利地への特例措置を講じること。
- 5 土地改良区決済金支援については、畑地化によって土地改良区の運営に支障が出ないよう十分な対策を講じること。
- 6 米価については、生産コストを下回らないような経営安定化対策を講じて、農業の担い手を確保すること。
- 7 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

審議

第20号

◎尾花沢市徳良湖面利用施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

質疑 塩原未知子

提案理由中に「市民が」とあるが市外の

利用が多いが、いかがか。湖面使用料金には、水難事故などの保険料を含むを削るとあるが、安全管理はどうしているのか。

答 広く市民（団体・個人）に利用していたため。保険対応は施設賠償保険で対応可能と考えている。事故対応は消防・警察と連携して行う。



○：賛成 ×：反対 /：議長

賛否状況	菅野 修一	星川 薫	安井 一義	菅野 喜昭	大類 好彦	小関 英子	伊藤 浩	塩原未知子	鈴木 裕雅	鈴木 清	和田 哲	奥山 格	鈴木由美子	青野 隆一
議第20号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	/

2月臨時会 2月2日

出産・子育て、除雪に全力

一般会計補正予算主なもの

除排雪・雪下ろし委託料(福祉課).....193万円

冬期間の公立保育所の適正管理に資するため増額補正するもの。

除排雪・雪下ろし委託料(商工観光課).....261万円

冬期間の公共施設の適正管理に資するため増額補正するもの。

除排雪経費(建設課).....2億5,000万円

今後の降雪の状況により除排雪経費の不足が見込まれることから増額補正するもの。

出産・子育て応援交付金事業(健康増進課)・・・621万円

孤立感や不安を抱く妊婦・子育て家庭を支援するため。

令和4年4月以降出産された方、および妊娠届出をした方を対象に、妊娠届出時「出産応援ギフト(5万円)」出生届～乳幼児間まで「子育て応援ギフト(5万円)」をさかのぼって支給する。





**問** 国では現在、麦や大豆の作付面積を拡大することを目標としており、この事業は本市においても、まとまった規模で、野菜などの高収益作物や蕎麦などの畑作物栽培に取り組み農業者にとっては効果的な事業であると認識している。

**答** また、本事業は団地化された畑地を形成する事も要件となっており、該当しない地域も出てくると思われるので、より多くの農業者が今後も継続して営農できるように



転作された水田

**問** 国の新たな農業政策として、国産需要が高まる麦や大豆の本作化に向けた「水田の畑地化促進事業」が展開されている。この事業の概要をどうとらえ、本市の農業政策にどう展開しようとしているのか。

**答** 本市の基幹産業である農業を守るために、市長会などの中で、中山間地域における本市農業の実情や、農地の状況について伝えていきたい。

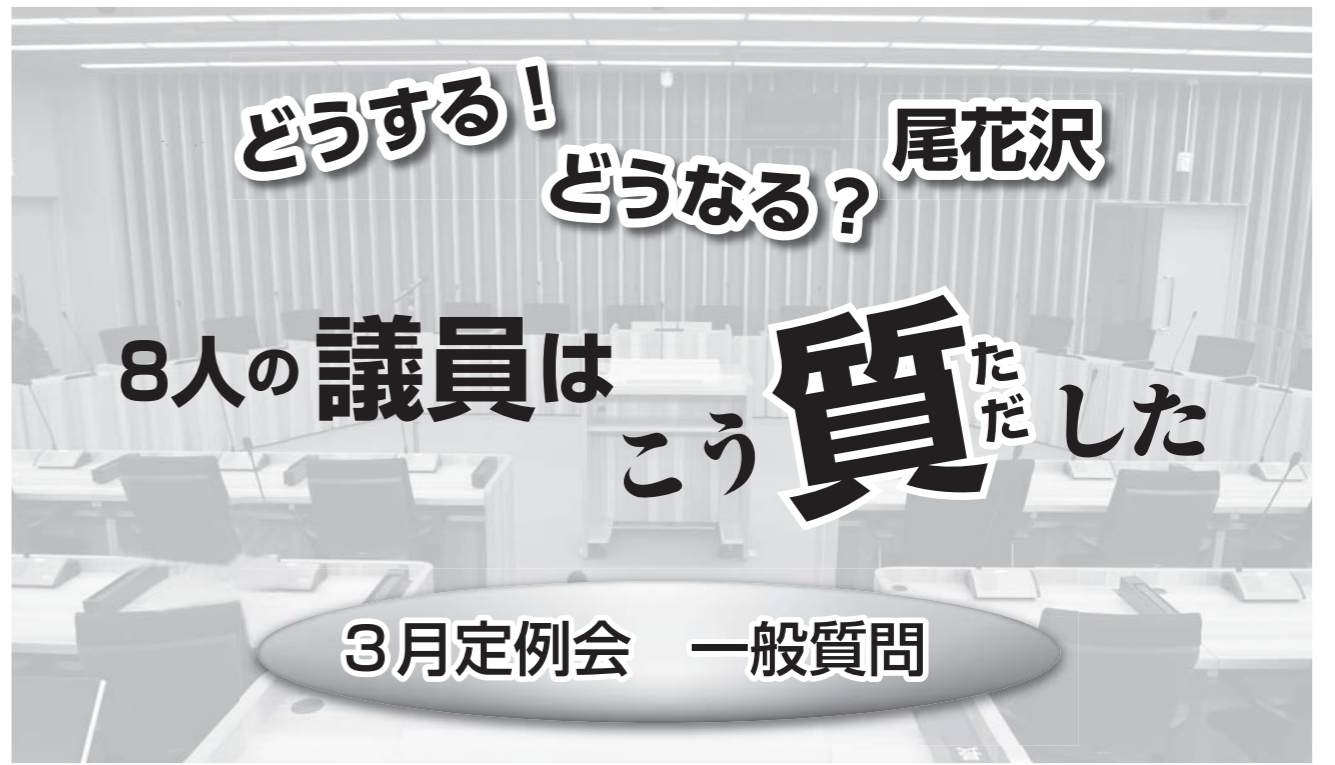
### 水田の畑地化促進事業

**Q** 水田の畑地化促進事業は慎重に進めるべきでないか

**A** 国、県に対して、今後も本市の実情を伝えていく



伊藤 浩 議員  
いとう ひろし



○囲み数字が掲載

伊藤 浩	① 農業を取り巻く問題 2 間口除雪体制の強化	塩原 未知子	① 小学校廃校が与える影響と各地区のまちづくり ② 持続可能なこれからの雪対策 3 銀山温泉を核に市内全体の観光をどう活性化していくのか 4 ふるさと納税 ⑤ 新市長が最優先に取り組む事業は何か
鈴木由美子	① 学園構想に関わる統合小学校建設 ② 廃校となる学校の利活用 ③ 若者が住み続けられる街づくり 4 パレットスクエアの跡地利用	菅野 修一	① 市長の年頭の挨拶で発信した新事業を何う ② 奮い立つ農業政策 3 「尾花沢伝統の匠」認定制度と支援内容の研究
安井 一義	① 都市計画の見直し ② 空き家の活用	鈴木 清	① コロナ禍3年、子育て支援の拡充を ② コロナ禍3年、国保料(税)の負担軽減を
小関 英子	① 徳良湖周辺の安心安全対策と活用拡大 ② 銀山温泉の安心安全を守る対策 ③ リトルベビーハンドブックの取り組み	奥山 格	1 交通危険箇所の事故防止対策 2 電気自動車の急速充電スタンド ③ 物価高騰の市民生活への影響 4 高齢者思いやりタクシー券

**問** 市内には伐採適齢期を迎えた森林がある。地元木材の活用で、学習環境の整備や地場産業の振興に努めて頂きたいがいかがか。

**答** 内装や家具・備品などへの木材活用を考慮する考えである。森林の活用が可能かどうか確認しながら検討していく。

**問** 小・中学校が同じ敷地内に建設されることと、「お互いが連携しやすく教育環境の充実が図られること」が目的で新たな場所が選定された。現計画では小学校建設のための用地買収をすすめる方針のみである。全体的な計画がなく、学園構想事業といえるのか。

**答** 小・中学校は財政状況を踏まえ統合小学校開校後に併設する形で整備していく。

### 学園構想の中学校建設の見通しはどうか

**Q** 建設時期の具体的な計画はまだないか

**A** 建設されることと、「お互いが連携しやすく教育環境の充実が図られること」が目的で新たな場所が選定された。現計画では小学校建設のための用地買収をすすめる方針のみである。全体的な計画がなく、学園構想事業といえるのか。



鈴木 由美子 議員  
すずき ゆみこ



**問** 5つの廃校となる学校の解体を含めた利活用計画は、統合小学校建設計画と同時進行すべきではないか。

**答** 公約でも示した通り、住民や議会の意見を聞きながら、閉校までに方向を定める。

### 廃校となる学校の利活用

### 若者が住み続けられる街づくり

**問** 市長が昨年から公言している「小・中・高校生の発達段階に応じたプログラミング学習に取り組みITエンジニアの育成事業」に予算が付いてないがいつから取り組むのか。

**答** 学校でのプログラミング学習を通して取り組んでいる。今後も事業内容を検討し、必要に応じて予算化したい。





安井 一義 議員  
やすい かずよし



Q 都市計画見直しの進め方はどの様に考えているか

A 快適な居住空間・コンパクトな街づくりを考える

都市計画の見直し

問 小学校建設予定地が決まり都市計画の見直しが必要と考える。どのように考え進めるのか。また周辺アクセスはどう進めるか。周辺の見直しで公園・えほんの杜等除雪はどう行うか。

答 計画の見直しは周辺住民の方々の快適な居住環境空間を維持する方針となる。将来的なまちづくりの方針である、コンパクトなまちづくりを目標とした。また統合小学校建設基本計画の策定状況を踏まえ、市民や都市計画審議会などの意見を参考に、県・国と連携して見直す。除雪については総合的に進めたい。

空き家対策

問 「空き家を利用し、地域おこし協力隊などが交流イベ

答 コロナ禍において控えられるが現在の進捗状況はどうなっているか。利活用については、誰がどのように管理しているのか。空き家の確認はどの様にしているのか。地域おこし協力隊の応募状況はどうなっているか。

答 コロナ禍において控えられるが、スマートフォン活用講座などデジタル化に合わせた事業を進める。空き家の管理は防災危機管理課を総合窓口とし、定住応援課と連携して進める。地域おこし協力隊は、徳良湖キャンブローダイネーターとして1名決定。ヨット振興、湖畔カフェ運営、フリーミッション枠で募集している。空き家バンクの今年度の成立件数は賃貸1件、売買が9件、登録件数は18件あり、そのうち13件は新規。



小関 英子 議員  
こせき えいこ



Q 徳良湖周辺の防犯対策の強化をすべき

A ルールを表記した看板を設置し周知する

徳良湖周辺ではウォーキングやランニング、犬などペットの散歩を楽しむ方が多くいる。ペットのノーリード散歩はルール違反、どう対策を行うか。

答 守るべきルールを表記した看板を設置し周知を図る。

問 ウイズコロナで、今後交流人口の増加がみこまれる。治安対策で防犯カメラ設置の予定はあるか。

答 防犯カメラの必要性、場所も含めて検討していく。

銀山温泉の安全対策

問 今冬季の豪雪で交通困難の事故が起きたがどう対策を行うか。

答 物損事故4件、人身事故1件発生し、3件の物損事故は冬季間に発生、今年度から県と

リトルベビーハンドブック

問 現在の母子手帳は、出生体重1千グラム未満の赤ちゃんの発育曲線グラフなど活用しにくい様式となっている。どう対応していくか。

答 山形県として、リトルベビーハンドブック作成に取り組みべきと考える。13市で構成されている山形県市長会に要望していく。



塩原 未知子 議員  
しおばら みちこ



Q 市長が最優先に取り組む事業は何か

A 限りある財源の中、判断し進めていく

問 今後大型事業が相次ぐ。あれもこれもは将来負担を考えると到底無理。ゼロカーボン宣言の当市として、持続可能なまちづくりの舵をどう切るのか。

答 公共事業には脱炭素への取り組みや再生可能エネルギーの活用が必要。サステイナブルな視点も加味しながら判断し、「統合小学校建設」「こみ処理施設の更新」「消防司令センター共同運用」など計画通り進めたい。

持続可能な雪対策を

問 春には溶ける雪だが、除雪費は過去最高約10億円の大台を超えた。GPSやAIを使い排雪費の抑制が必要ではないか。全国には雪を1トーン1千円で販売する自治体や、雪で発電する事業なども進んでいる。当市でも雪の活用をもっと研究すべきではないか。

各地区まちづくりは

問 小学校統廃合はまちづくりにあたる影響が大きい。各地区の話し合いはどうすすめるのか。建設候補地の比較評価で高得点となった予定地は旧垂炭鉱跡が心配だ。安心安全な環境が最優先ではないか。

答 予定地は今後地質調査を行う。その結果を踏まえコンパクトシティをめざし今後都市計画マスタープランを見直しする。各地区のまちづくりは早い段階から話し合いを進めていく。



菅野 修一 議員  
すがの しゅういち



Q 「市役所のデジタル化」推進はいかに

A 「書かない窓口」や「移動市役所」の導入を図る

問 デジタル化の事業、内容、ねらいとする効果を伺いたい。

答 市民誰もがわかりやすく、書類の記入を簡略化する「書かない窓口」や、自宅や外出先からでも行政手続きができる「オンライン申請」の導入を計画している。だが、デジタル化により、恩恵を受けられる人と受けられない人の格差を是正することも重要なので、「スマホ教室」を継続する。また、デジタル端末に慣れない方や移動手段を持たない高齢者をターゲットにした「移動市役所」導入を図る。これは通信機器などを搭載した車両が各集落に出向くことにより、行政サービスが可能となる。試行実証期間を設け、市民ニーズの把握と課題を洗い出し、本市に合った政策となるよう努めていく。そして、誰一人

奮い立つ農業はまず米価だ

問 令和4年度も生産材高騰による生産コストを賄えない米価である。この状況では水田農業の未来は語れない。今国会衆議院予算委員会と与野党委員から、米価への生産コスト転嫁の意見が出された。市農業再生協議会として、生産費がきちんと米価に転嫁なされる制度を検討されるよう関係省庁へ陳情してはどうか。

答 機会を捉えて国や県に対し、中山間地域の水田経営の実情を訴えながら、農業者が将来に希望を持てる支援を訴えていきたい。





鈴木 清 議員  
すずき きよし

Q 小学校統合時に給食を無償化してはどうか

A 児童数・近隣の状況・財政などで判断したい

国保税の負担軽減を

問 コロナ禍3年が国保税にどう影響しているか以下質問する。①一人当たりの額と順位②滞納世帯数(率)③低所得世帯の法定軽減数(割合)④子どもの均等割をなくせないか⑤国保税を下げ軽減できないか。

答 ①13万3千84円で2番目に高水準②211世帯9・4%③1千223世帯55%④未就学児の1/2軽減だが一律減免を要望中。⑤国の責任において取り組むべきものであり、国保財政の強化を要望している。

子育て支援

問 本市の出生数は、10年前の110人からR4年度は46人と急激な少子化を迎え対策が急務だ。県内の学校給食の状況は、全額無償は8自治体、4から6ヶ月無償は3自治体、半額助成は2自治体と進んでいる。R9年の統合小学校開設に向け、全額無償化を子どもたちにプレゼントしてはどうか。



答 児童生徒数の推移、近隣自治体の実施状況、財政事情など総合的に判断し対応したい。



奥山 格 議員  
おくやま きわむ

Q 物価高騰対策をどうするのか

A 地方創生臨時交付金で対応したい

物価高騰の市民生活への影響

問 電気料、ガソリン、灯油、食料品、畜産農家の飼料、農業、外食産業、交通・運輸産業などの物価の高騰が市民生活を直撃している。その影響をどう見ているか。また市の事業に対する影響とその対策はどうか。

答 長引くコロナ禍に加え、昨今の急激な物価高騰により、市民生活や企業活動は長期間にわたり大きく影響を受けている。本市では、これまで新型コロナウイルス対応の地方創生臨時交付金を活用し、あらゆる分野で支援策を講じてきた。これからも機会をとらえ、関係機関に対して地方創生臨時交付金の継続を訴えていきたい。

物価高騰が本市の財政運営に及ぼす影響額について施設の、燃料



費・光熱水費が、令和4年度当初予算と比較して約3千万円増加し、また環境衛生事業組合における光熱水費等の高騰に伴う負担金についても約2千万円増加するため、計約5千万円の増加になると考えている。

このような状況を受け、国では地方財政計画において光熱費高騰分として70億円を計上し、普通交付税算定に反映させることとしている。また令和5年度予算において「新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策予備費」として4兆円を計上されており、地方創生臨時交付金が交付された際には、迅速な対応ができるよう関係機関と連絡を密にしながら、情報収集と事業調整に努めたい。

人にやさしく、ゆるやかに暮らす街

大好き尾花沢 Vol.7

まつだ あきひこ 松田 明彦さん (協力隊・移住支援コーディネーター) (山形市出身)

●第二の故郷

母は尾花沢で生まれました。母方の菩提寺は丹生の巢林寺で、毎年、お盆の時期は正厳の親戚宅で過ごしていました。母は帰るたびに「いつかは尾花沢に帰って暮らしたい」と語っていました。それを聞いて育ちましたので、自分もいつかは尾花沢に戻って暮らしてみたいと思うようになりました。

●尾花沢の魅力

タイトルの「人にやさしく、ゆるやかに暮らす街」は、今回作成した移住希望者向け冊子のタグラインとして用いた尾花沢市のブランド価値を言語化したものです。外から来た人間にとっては、「暮らしている人達のやさしさ」と「ゆるやかな街の雰囲気」が尾花沢の大切な価値、魅力だと感じています。

●これからの夢

シビック・プライド(市民の誇り・愛着)の醸成

「ここが大好きな自分たちの街」と誰もが声を大にして言えるように。尾花沢のアイデンティティである徳良湖をフィールドとして、みんなでワクワクすることをたくさんおこない、次の世代の子どもたちに繋げていく。それには、ひとりがヒーローになるのではなく、みんながヒーローになることが大切です。みんなで楽しい尾花沢をつくり上げていきたいです。



議会基本条例

議会だより116号で募集した議会基本条例に対して貴重なパブリックコメントをたくさんいただきました。厚く御礼申し上げます。皆からいただきました貴重なご意見を議会基本条例の作成に活かしてまいります。



パブリックコメント  
ありがとうございました